# 部会報告

# ISO/TC 127/SC 2/WG 26 (ISO 10968 土工機械—操縦装置) 2016 年 10 月オランダ・アムステルダム 国際作業グループ会議報告

標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会国際専門家(Expert) 間宮 崇幸(コマツ)

国際標準化機構 ISO の専門委員会 TC 127(土工機械) 傘下の国際作業グループ ISO/TC 127/SC 2/WG 26(ISO 10968 土工機械—操縦装置改正) 作業グループ会議が 2016 年 10 月にオランダ国アムステルダム市で開催され,前回 2016 年 4 月に引き続き,協会標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会から国際専門家(Expert) として出席した間宮崇幸氏の報告を紹介する。

**1 開催日**: 2016 年 10 月 18-19 日

2 開催地: オランダ アムステルダム スキポール空 港内 Conference Exchange Avenue The Ruyter 会議室

3 出席者:11名

スウェーデン (SIS) 3名 米国 (ANSI) 2名 英国 (BSI) 1名 ドイツ (DIN) 2名 イタリア (UNI) 1名 チェコ (UNMZ) 1名 日本 (JISC) 1名

# 4 概要

- ・Annex A 本体、Annex B エクイップメント、Annex C アタッチメントの操縦操作方法に加え、Annex D グレーダ、Annex E ブルドーザとしてまとめた。
- ・4.2.2 主要操縦装置の最小間隔測定箇所について 明確化した。また、足操作式について片足の場合 を追加した。
- ·CD 投票用案文を完成させた。

#### 5 主な審議内容

事前提出した前回の宿題(Annex Dグレーダとブルドーザ, 2ピースブーム, 解体アタッチメント)の検討の他に、会議の冒頭で示された意見について検討した。

再度, 冒頭から文言を確認し, 表記揺れなどを再確 認し修正した。

- ·Foreword に今回の改正項目の概要を追加した。
- ・Foreword と 1. Scope の間に Introduction を追加 した。
- ・1 Scope から primary を除き、全ての operator's control を対象とした。
- ・4.2.2 Distance between controls について,主要操縦装置の最小間隔測定箇所を中心間距離もしくはクリアランスか明確化した。
- ・4.2.2 足操作式については、別々の足の場合は50 mm, 同じ足(ただし, 踵が同じ位置で操作し, 平行でない操縦装置間)については30 mmとした。
- ・Annex D グレーダと Annex E ブルドーザに分け、追加した。

CD 投票に向けて案文を完成させ、WG 審議を終了した。

### 6 その他

DIS 投票までに、新たに追加する図について ISO 指定フォーマットで用意しておく。

## 7 今後のスケジュール

- ·2016年10月 CD 投票開始 2016年12月締切。
- · 2017 年 6 月 DIS 投票開始
- · 2018 年 6 月 ISO 発行

次回 WG: CD 投票後の 2017 年 2 月,場所は未定。

#### 参考資料

N46: 今回の WG 会議議事案

N44 (N48: 20161018 議論分反映): 今回の WG に向

けた改訂案文

SC2/N1256: 今回の会議内容を反映させた CD 投票案文

※今後追加されると思われるもの

Nxx:今回 WG 会議の議事録

Nxx:今回 WG 会議の決議